

偲ぶ草(続)



竹内 清一

16・12 法卒
(昭和61年9月20日病没)

昭和11年同志社航空部創立にあたり、尾田幸雄、牧野伊兵衛氏等と共に活躍、「ノントウ氏」の愛称の通り、すべてを包容する心の

広さで部をまとめ、また操縦訓練では学生助教として活動されました。27年航空部再開及び、航空部所有第1号機「アロウヘッド」購入の時など、永年にわたり物心両面から学生の良き理解者として、信望を集めておられました。

創立記念式直前に突然の訃報に接し、まことに残念の一言につきます。

改めてご冥福をお祈りいたします。

竹内清一さん。貴方がつくった同志社航空部の創立50周年記念式が今日、盛大に行なわれましたよ。

昭和27年、航空再開後も色々との為に尽力いただきましたが、今日の素晴らしい会合を大空で一番喜ろこんでくださっているのではないのでしょうか。

同志社スポーツ・ユニオンの常任理事として、航空部のメンドウを見ていただいた上、時には学生連中の無心にも応じていただきました。空を愛し、同志社航空部を愛し続けて下さった竹内さん、これからも部の益々の発展をいつまでも見守って下さい。

—11月2日記念式の夜—
(橋本元雄 16・12 法卒)



宮田 正士

28・3 工卒
(昭和61年6月18日病没)

永い間、閉トマされていた大空に、航空再開の声がかかれた昭和27年、同志社航空部も再発足のために立ち上がりました。

宮田さんも楠、明石、大角さん等と共にいち早くこの計画に参画され、爾後航空部の発展のために大変貢献されました。

今しばらくお元気でいられて、我々共々、50周年記念式を祝いたかったと思います。

心から安らかにおねむり下さいと祈ります。

宮田正士氏夫人よりの来翰

平素ご無沙汰ばかりいたしておりますのに、いろいろとお心遣い頂き恐縮に存じます。

昨年2月、神戸から門司工場長として着任、元気に充実した毎日を送っておいりましたのに、8月突然発病……。肺腫瘍でした。手術後は順調で、一日も早く社会復帰をと頑張っておりましたのに……。皆様のお励げましもむなく遂に不帰の人となりまして残念でなりません。

ここに生前のご厚誼を深謝いたし、心からお礼を申し上げます。

末筆になりましたが、同志社航空部のますますのご発展を心からお祈りしております。どうか航空部の皆様によろしくお取りつき下さいませ。